



横転した機関車と数多くの流木



落橋した上の橋

2018年は、アイオン台風から70年

昭和23年9月、アイオン台風は、岩手県において前年のカスリン台風を上回る被害をもたらしました。特に、一関市周辺においては、カスリン台風の被害から完全に復旧されないままの台風来襲により、濁流が再び街を襲い、多数の死者を数える壊滅的な被害を経験しました。

いつ、どこで、どのような規模の洪水が発生するかわかりません。「被害の最小化」を目指し、先人たちの声に耳を傾け、自分たちができることを考え、災害時に備えることが必要です。昨年から実施している『カスリン・アイオン台風70年』の取組を継続し、防災・減災の意識を醸成します。

【取組内容】

- 昨年から実施している、『カスリン・アイオン台風70年』の取組を引き続き実施します。
『パネル展』、『住民参加の実践的な訓練』、『防災勉強会』等
- 地域で実施する防災活動やイベントなどを支援します。
『出前講座』、『資料提供』、『取組ブースの設置』等

平成29年主な取り組み



■吸川放水路見学
幾度となく多大な災害を繰り返してきた吸川に整備された放水路トンネルの重要な役割について体験



■一関市水防訓練
住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、水防技術の習得及び向上並びに市民参加型訓練を通じて水防意識の高揚を図ることを目的に開催



■水防フォーラム
水災害の教訓と近年の気象状況などを知り、そして、地域の未来のために、安全を守る「水防災」を考えることを目的に開催



■あいぼーとフレア17
『治水施設や災害対策車両の役割』と、自らそして家族の『命を守る防災』を知ってもらうことを目的に開催

◆◆編集後記◆◆春も近づきスギ花粉も飛散し始めました。東北地方は前年比210%で「非常に多い量」の飛散が予定されているようです。しかし、例年比は110%との事。昨年は少なかったんですね～。(み)



胸に刻もう

『カスリン・アイオン台風70年』

～風化させない歴史とつなげる未来～